



## 校長室から

甘利 尚之

令和4年5月9日(月) No.11

### 4/13 ホタルの幼虫の引き渡し

(以前HPでも紹介をしましたが)、4月13日(水)、ホタルの幼虫の引き渡しを行いました。



昨年の11月11日、「桜つつみホタル会」の方よりお預かりしてから、各学年の教室で大事に育ててきたホタルの幼虫です。残念なことに、今年も、新型コロナウイルスの感染状況より、子どもたちの手による直接の放流はできないこととなり、幼虫を会の方に「引き渡し」、放流していただくことになりました。



水槽の中に入れてあった石や、餌として入れてあった「カワニナ」の殻と一緒にトレーにあげて探します。石や指でつぶさないように丁寧に探し、バケツに移します。死んだカワニナの殻の中に幼虫が入っている場合もあるので、最後には、カラも全部、バケツに移しました。確認できたもので、6学年合わせて478匹、一つの学年で80匹ほどがとれました。



放課後、取りに来ていただいた宮下会長さんらに、各学年で集めた幼虫をバケツごと持って行っていただきました。(4月17日[日])に、ホタルの会の皆さんで放流ということでした)6月の、ホタルが舞う時期になったら連絡をしてくださるということでした。子どもたちが育てた幼虫が、成虫となり、美しい光を放ちながら飛び回る様を楽しみに待ちたいと思います。保護者の皆様にも呼び掛け、時期には、見てい

ただけるようにと思います。この、ホタルを介した地域の皆さんとの「ご縁」大切にしていきたいと思っています。